

# 障害者スポーツ競技記録会兼 第21回全国障害者スポーツ大会佐賀県代表選手選考会 陸上競技実施要領

## 1 競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則に準ずるものとする。

## 2 競技方法

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。
- (2) トラック競技で棄権がある場合は、そのレーンを空けて実施する。
- (3) スタートは1回制とし、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格となる。
- (4) セパレートレーンで行う種目は、50m走、100m走、200m走、400m走とする。800m走は、最初の曲走路が終わるまでセパレートレーンで行う。ただし、知的障害者の800mは、オープンレーンで行うことができる。
- (5) 競走競技で故意に他の競技者を妨害した場合は、その競技者を失格させる。なお、この場合の再レースは行わない。
- (6) セパレートレーンで行う視覚障害者のトラック競技で伴走者を希望する選手には、1選手に2レーンを割当て、選手は内・外どちらかのレーンを選択して使用できる。
- (7) 視覚障害者の50m走に使用する音源は、ハンドマイクに収納した音源を用いる。
- (8) フィールド競技（投跳競技群）の試技は3回とする。
- (9) 投てきに使用する競技用具は、主催者が用意したものを使用する。
- (10) スパイクの使用が許されている者は、スパイクの針の長さが9mm以下のものを使用すること。
- (11) 視覚障害者（障害区分24・25）の立幅跳、走幅跳及び投てき競技については、必要に応じて競技役員又は競技補助員が方向を指示する。
- (12) 視覚障害者部門の障害区分24の者は競技エリアで光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着するが、その競技エリアは競走競技では（トラックの走路）を跳躍競技では（助走路及び砂場）、投てき競技では（助走路及びサークル）を指すものとする。
- (13) 競技終了後は、係員の指示に従い退場すること。
- (14) トラック競技に関して、スタート合図はイングリッシュコールとする。

## 3 競技開始時間

8:00 受付開始 9:30 競技開始とする。

## 4 招集

- (1) 招集場所 補助競技場 管理棟南側
- (2) 招集時刻 その競技種目の開始時刻を基準として、次のとおりとする。なお、個人の呼び出しは一切行わない。

競技名	招集開始時刻 (点呼開始)	招集完了時刻 (点呼終了)
トラック競技	競技開始30分前	競技開始15分前
フィールド競技	競技開始40分前	競技開始20分前

※開会式直後の競技開始にあたっては、招集時間を短縮することがある。

- (3) 棄権借置 招集完了時刻に遅れた選手は棄権したものとみなし、出場できない。

## 5 服装

競技にあたっては、競技服装（ランニングシャツ、トレーニングシャツ等）を着用し、その競技服装の上着の胸部にナンバーカード（ゼッケン）を着用すること。また、招集受付にて、腰ゼッケンを必ず受けとること。

## 6 その他

- (1) 選手は、あらかじめ競技場所を確認しておくこと。
- (2) 競技中におきる選手の事故については、主催者は応急処置以外の責任は負わない。
- (3) 選手は、競技の組合せ等について異議を申し立てることはできない。

# 障害者スポーツ競技記録会兼 第21回全国障害者スポーツ大会佐賀県代表選手選考会 水泳競技実施要領

## 1 競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則に準ずるものとする。ほか、この要領の定めるところによる。

## 2 競技

### (1) 招集

- ①招集は、競技開始予定時刻の30分前から15分前までに終了する。
- ②招集時刻に遅れた選手は棄権とみなす。
- ③競技時刻は進行の都合により変更する場合があるため、放送・掲示板等に十分注意すること。
- ④前レースから次レースの招集終了時間までが10分以内の選手については、当該選手の代理の者がその旨を招集所に申し出ることにより、代行することができる。

### (2) 誘導

- ①競技エリアでの誘導は、競技役員及び競技補助員が行う。なお、許可を受けた介助者がいる場合は、競技役員の指示に従う。
- ②選手は、競技終了後、競技役員及び競技補助員の誘導により選手解散所にて解散する。

### (3) 選手紹介

競技前の選手紹介の際は、選手は椅子から立って紹介を受けること。ただし、車いす使用者及び立つことが困難な選手は、着席した状態で片方の手を挙げる等により紹介を受けることができる。

### (4) 介助者等

障害によりやむを得ず介助者による補助や指示が必要な選手については、申し込み時に介助者（同伴者）の入場申請ができる。

### (5) 浮具の使用

**障害区分22の浮具の使用が必要な選手は**、参加申し込み時に申請があり、かつ、審判長が認めた場合に限り使用することができる（両腕、首及び腰）。ただし、浮具は選手が用意しなければならない。

### (6) 計時

- ①計時は、自動審判計時装置及び半自動審判計時装置を使用する。
- ②有効面外のタッチ又はライトタッチで自動審判計時装置が作動しない場合は半自動審判計時装置により計測した記録とする。

### (7) 出発合図は、閃光・電子音装置を使用する。

## 3 競技開始時間

9:00 受付開始 10:30 競技開始とする。

## 4 その他

### (1) 貸出用車いす

競技エリア内への入場の際に車いすが必要な選手は、原則として主催者の用意した車いすを使用するものとする。この場合において、主催者に対して参加申し込み時に申請すること。

なお、自身の車いすを使用する場合は車輪の汚れを取り除くこと。

### (2) 種目順

別表の種目順により競技を行う。参加申し込み時に参考にする。ただし、編成上、やむを得ず種目順を変更することがある。

(別表) 種目順

1	50m自由形	6	25m平泳ぎ
2	50m平泳ぎ	7	25m背泳ぎ
3	50m背泳ぎ	8	25mバタフライ
4	50mバタフライ	9	—
5	25m自由形	10	—

### (3) 撮影

①介助者又は同伴者による競技エリアでの撮影は禁止する。

②フラッシュ撮影は禁止する。

### (4) 更衣・服装

①更衣は、更衣室を利用すること。

②更衣室及び競技エリア以外では、水着及び裸足の状態で歩き回らないこと。

(5) ウォームアップについては、主催者において別途定める。

(6) プールの水深は140cm～150cmとする。

(7) 水温は28℃～30℃とする。

(8) 競技エリアへは、競技者の他、競技役員や大会役員等の許可を受けた関係者以外は立ち入ることができない。

(9) 貴重品については、各自責任をもって管理すること。

(10) 土足厳禁の区域制限を守ること。

(11) 競技エリアでは水分補給のみ認める。

(12) 選手の控所は、指定された場所を利用すること。

# 障害者スポーツ競技記録会兼 第21回全国障害者スポーツ大会佐賀県代表選手選考会 アーチェリー競技実施要領

## 1 競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則に準ずるものとする。

## 2 標的競技

(1) 競技種目は男女とも次のとおりとする。

①50m・30m ラウンド

50m・30m の各距離から1エンド3射(2分)で36射ずつ行射する。

②30m ダブルラウンド

30m・30m の各距離から1エンド3射(2分)で36射ずつ行射する。

(2) 部門はリカーブ部門とコンパウンド部門とする。

## 3 競技方法

(1) 競技種目は、男女とも50m・30mラウンド及び30mダブルラウンドとする。

(2) 標的面は、直径80cmとする。

(3) 立順はA、B、Cの3立制とし、3射ごとに採点、矢取りを行う。

(4) 行射時間は3射2分以内とする。

(5) 競技開始前に(ABC)3射矢取り・(ABC)3射矢取りの試射を行う。

(6) 競技は、音響・視覚による時間管理装置(信号機)で進行する。

(7) 看的については、相互看的とし、エンド毎の得点は速やかに表示板に記録する。

(8) 椅子の使用は、競技上有利にならなければ認められる。

(9) 身体的機能の補助を目的とした補助具(リリースエイドの発射装置)は認められる。

(10) コンパウンドの照準器は次のとおりとする。

①プリズム・レンズまたはその他の光学的拡大装置、水準器又は電氣的装置が組み込まれていないこと。

②2個以上の照準器を有していないこと。

## 4 競技開始時間

9:30 受付開始 10:00 競技開始とする。

## 5 競技用具

競技に必要な用具は出場選手が各自用意する。

## 6 服装

競技の服装は、軽装でスポーツがし易い服装とする。

## 7 その他

会場内は禁煙。ごみは各自で持ち帰り、会場の美化に努めること。

# 障害者スポーツ競技記録会兼 第21回全国障害者スポーツ大会佐賀県代表選手選考会 卓球競技実施要領

## 1 競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則に準ずるものとする。

## 2 競技方法

- (1) 競技種目は一般卓球とSTT（サウンドテーブルテニス）とする。
- (2) 試合は、各パートリーグ形式とする。
- (3) 1パートは5名以内とし、原則として同一表彰区分の選手で構成するものとする。
- (4) 出場者の少ない障害区分では、別の障害区分の選手と合わせて1ブロックを構成することがある。
- (5) ゲーム(セット)は、1ゲーム11点先取とする。10点-10点以降は2点リードした方を勝者とする。
- (6) マッチは、1マッチを5ゲーム（STTは3ゲームマッチ）とし、3ゲーム（同2ゲーム）先取した方が勝者となる。
- (7) サービス(サーブ)は、2本交代、10点-10点以降は1本交代とする。
- (8) STTに出場する選手は各自で用意したアイマスクまたはアイシェードを着用すること。
- (9) 義肢や松葉杖を使用する選手は、特に支障がない限り接触面にあてがう布やカバーを用意すること。
- (10) 車いす選手と対戦する時のサーブはサイドを切ったらレットとする。

## 3 競技用具

使用球は、日本卓球協会公認硬球プラスチック40mmホワイト球とする。

## 4 競技開始時間

一般卓球は9:00 受付開始 9:30 競技開始とする。

STTは13:00 受付開始 13:30 競技開始とする。

## 5 招集

- (1) 招集は、競技役員の指示に従うこと。
- (2) 招集は、競技開始15分前に完了する。
- (3) 招集完了時刻に遅れた選手は、原則として、棄権したものとみなす。

# 障害者スポーツ競技記録会兼 第21回全国障害者スポーツ大会佐賀県代表選手選考会 フラインク・ディスク競技実施要領

## 1 競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則に準ずるものとする。

## 2 競技種目

- (1) アキュラシー競技(ディスリート・ファイブ又はディスリート・セブン)
- (2) ディスタンス競技(座位、立位に分け男女別に実施する)

## 3 競技方法

- (1) 競技は、すべて競技役員の指示にて進行する。
- (2) どの種類の投げ方でも認められる。
- (3) 競技に使用する公式ディスクについては、主催者で用意する。
- (4) 補装具も含め、競技上有利となる用具の使用は認めない。
- (5) プレーヤーが視覚障害者の場合、競技役員がアキュラシーゴール後方3mの距離から音源で知らせることができる。
- (6) 試技の時間は、プレーヤーが1投目のディスクを受け取ってから5分以内とする。5分を超えて競技することはできない。

## 4 服装

動きやすい服装で、運動靴を着用すること。

## 5 競技開始時間

9:30 受付開始 10:30 競技開始とする。

## 6 招集

- (1) 招集は、各組の競技30分前から開始し、10分前に完了する。
- (2) 招集場所 補助競技場内 所定場所
- (3) 招集時刻に遅れた選手は棄権したものとみなす。

# 障害者スポーツ競技記録会兼 第21回全国障害者スポーツ大会佐賀県代表選手選考会 ボウリング競技実施要領

## 1 競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則に準ずるものとする。

## 2 競技方法

- (1) 競技は、デュアルレーン（アメリカン）方式（レーン移動あり）とする。
- (2) 競技は、すべてスクラッチ（ハンディキャップなしの記録）とし、2ゲームの総合得点で競う。
- (3) バンパーレーンは採用しない。
- (4) 1レーン3名以内で競技する。
- (5) 練習投球は、競技開始前に競技役員の指示により10分間行う。
- (6) 隣り合ったレーンで、同時に投球姿勢に入った場合は、右側の選手を優先する。
- (7) ファウルラインを超えて投球した場合は投球回数にカウントし、倒したピンは得点とならない。
- (8) 競技は、すべて競技役員の指示に従って実施する。

## 3 競技開始時間

9:30 受付開始 10:15 競技開始とする。

※9:00 開場

## 4 招集

- (1) 招集は、競技20分前から開始し、10分前に完了する。
- (2) 招集時刻に遅れた選手は棄権したものとみなす。

## 5 その他

- (1) 選手は競技中、ボウラーズベンチをみだりに離れないこと。やむを得ず離れる場合は、競技役員の指示に従うこと。
- (2) ボウラーズベンチ内での飲食・喫煙は禁止する。
- (3) 服装はボウリングをするうえで支障のないものを着用すること。なお、ソックスは必ずはくこと。
- (4) 競技終了後、選手が使用したボール及びシューズは、各自責任をもって所定の位置に戻すこと。

# 障害者スポーツ競技記録会兼 第21回全国障害者スポーツ大会佐賀県代表選手選考会 ボッチャ競技実施要領

## 1 競技規則

全国障害者スポーツ大会競技規則に準ずるものとする。ただし、チーム編成についてはこの限りではない。

## 2 競技方法

- (1) 試合は1対1の個人戦とし、2エンドで行う。
- (2) 2エンドの総得点で勝敗を決める。
- (3) 2エンド終了時に同点の場合は、タイブレイク（ファイナルショット制度）で勝敗を決める。
- (4) 各プールはリーグ戦とする。
- (5) 予選リーグを行い、上位選手による決勝トーナメントを行う。
- (6) 予選リーグの順位決定方式は次の順で行う。
  - ①勝敗 ②直接対決 ③得失点差
  - ④総得点 ⑤タイブレイク（ファイナルショット制度）
- (7) ウォームアップボールは、ジャックボールを含めて2分以内で7球まで投球練習ができる。
- (8) 競技を開始するにあたって、コイントスにて投球順序（使用するボールの色）を決定する。
- (9) ジャックボールを含めた投球時間の合計は、1エンドあたりそれぞれ6分以内とする。
- (10) ペナルティーボールは、1球を1分以内で投げること。

## 3 競技用具

- ・ボールは周長直径270mm±8mm、重さは275g±12gとする。  
個人所有のボールを使用しても構わない。ただし、大会主催者が実施するボール検査において、基準を満たしていないと判断された場合、競技には主催者が用意するボールを使用すること。
- ・投球補助具（ランプ）は、付属品、延長部、基本部分を含めた最大最長の状態にして横にしたとき、2.5m×1mのエリアに収まるような寸法でなければならない。ランプに加速や減速、狙いを定める機器や、投球に機械的な補助を設ける機器をつけてはならない。
- ・選手が競技を行う際に使用する用具は、あくまで自分の力で投球をするための器具であり、事前に大会主催者の検査及び了承を受けておくこと。
- ・用具の検査は試合当日に行う。

## 4 競技開始時間

**9:30** 受付開始 **10:00** 開会式 **10:30** 競技開始とする。

※参加人数により変更の可能性あり。

## 5 招集

- (1) 招集は、競技役員の指示に従うこと。

## 6 その他

体育館シューズを持参および着用すること。